

補助事業番号 20-44

補助事業名 平成20年度 自転車に関する普及啓発等補助事業

補助事業者名 財団法人 日本自転車普及協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

広く一般に対し、公営競技を健全な余暇活動として定着させるための各種調査及び自転車の乗用環境整備のための調査研究事業、自転車競技のイメージアップを図るための広報事業並びに競技用自転車タイヤの品質向上、生産の合理化を図るための事業を実施し、自転車産業等の振興に資することを目的とする。

(2) 実施内容

① 競技用自転車タイヤ等の生産供給の確保推進

競技用自転車タイヤ生産に必要な関連構成部品製造設備を整備した。

② 自転車競技等に関する調査研究

平成20年度自転車競技関連施設来場者等に対するアンケート調査について、専門の調査機関に委託して実施した。

また、科学技術館内の自転車文化センター「北ノ丸サイクル」に、自転車利用の促進・理解と認知拡充を図るため、3D立体ハイビジョンシアターを設置し、自転車競技を中心とした3D立体映像を制作・放映した。

③ 自転車競技に関する広報

広く一般社会に対して、自転車利用の促進・理解と認知拡充を図るため、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等のマスコミ媒体を通じて各種自転車競技の情報提供を実施したほか、北京オリンピック自転車競技出場選手応援キャンペーンを実施した。

また、第12回ツアー・オブ・ジャパンの開催に際して、堺・美濃・南信州・伊豆・東京の各ステージにおいて大型映像装置による場内実況中継を実施すると共に、大会終了後、NHK BS1において大会総集編特別番組を放送した。

さらに、競輪GP・G1・G2開催告知のためのテレビ番組提供を行い、決勝戦においてはテレビ中継を実施した。

加えて、BS-iレギュラー番組「銀輪の風～世界のシクロ・リポート」の放映を

行った。

3. 予想される事業実施効果

①競技用自転車タイヤ等の生産供給の確保推進

生産設備の整備導入により、競技用自転車タイヤの生産の効率化と品質の確保向上が得られ、今後の自転車競技の円滑な運営に資するものと予想される。

②自転車競技等に関する調査研究

自転車競技の既存ファン及び他競技ファンの動向を観測すると共に、自転車競技関連施設が周辺地域に与えている影響について地元住民や施設来場者へアンケート調査を行い、調査結果を分析することにより、来場者の基本特性、自転車競技活動実態、ファン意識、他競技の活動状況などのファン動向や一般市民の自転車競技に対する認知度や意識の現状を把握することができたため、今後の自転車競技を運営する自治体の経営改善のための施策の一助とすることができる。

また、北ノ丸サイクルで立体ハイビジョンシアターの3D映像を放映することにより、その場で自転車の様々な競技、歴史、交通ルールなどを児童・生徒等若年層を中心に、幅広く普及啓発を行うことができた。

③自転車競技に関する広報

新聞（スポーツ紙・地方紙）・地上波テレビ等の媒体を用いた各種情報提供の拡充事業を実施することにより、顧客サービスの強化及び新規ファン来場促進を図ることができた。

また、北京オリンピック・パラリンピック自転車競技出場選手応援キャンペーンを行い、北京オリンピック・パラリンピック自転車競技種目に対する関心を惹起するとともに、ケイリン種目で日本人として初めて銅メダルを獲得した永井清史選手の応援感謝広告で、さらなる関心を高めることができた。

加えて、第12回ツアー・オブ・ジャパンの開催に際して、場内実況中継を実施したことや、大会終了後にNHK BS1で大会総集編番組を放送したことなどを通じて、広く視聴者に自転車競技のイメージアップと普及啓発を図ることができた。

4. 本事業により作成した印刷物

「競輪場外車券施設来場者アンケート調査」報告書 100部

「競輪場外車券施設の周辺住民に対するアンケート調査」報告書 100部

5. 補助事業者連絡先

団 体 名 : 財団法人 日本自転車普及協会
(ザイダンホウジン ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住 所 : 107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番3号

代 表 者 名 : 会長 阿部毅一郎 (アベ キイチロウ)

担 当 部 署 : 事業部

担 当 者 名 : 事業部 担当部長 竹内 紀文 (タケウチ ノリフミ)

電 話 番 号 : 03-3585-7578

F A X 番 号 : 03-3586-9782

E - mail : gyou2@jifu.jp

U R L : <http://www.bpaj.or.jp/>